

「海上保安庁の使命と国際海上秩序の維持」

日時：6月4日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階

SMBC Academia Hall (対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、海上保安庁長官 石井 昌平 氏からお話を伺います。

四方を海に囲まれた海洋国家である我が国にとって、平和で豊かな海を守り国民の安全・安心を確保することは極めて重要であります。近年、尖閣諸島周辺海域における中国海警船による度重なる領海侵入など、我が国の海洋安全保障環境は厳しさを増しています。また、違法操業、海難、自然災害等が頻発するなど、海洋を巡る情勢は予断を許さないところです。

本講義では、これらの課題を概観するとともに、広大な海を守る海上保安庁の国内外における取り組みを紹介し、その使命について理解を深めるとともに、海洋秩序の維持に海上法執行機関が果たす意義について考察を行います。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。）。

※資料は、UTOLから入手して下さい。授業開始の1時間前までを目途に掲示します。

— 問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp —



**海上保安庁長官
石井 昌平 氏**